

JF フェローに日文研にて従事いただきたい内容：

■「国際日本研究」コンソーシアムの海外展開活動への協力

国際日本文化研究センターは、「国際日本研究」や「国際日本学」を掲げている国内の大学等研究機関の研究・教育のニーズのくみ上げと相互連携協力の強化を企図して、2017年に「国際日本研究」コンソーシアムを結成し、その代表幹事機関として「国際日本研究」の深化を進めている。第4期中期目標・中期計画期間（2022～2027年度）は、「国際日本研究」コンソーシアムを、国内だけでなく、国外の大学等研究機関も会員機関として参加するグローバルな連携組織に展開させる。国際共同ワークショップ等の開催や若手研究者の育成に取り組んできた豊富で優れた実績をふまえ、「国際日本研究」コンソーシアムのさらなる活性化を目指している。

JF フェローには出身国又は出身大学のネットワークを活かし、周知活動等とおして「国際日本研究」コンソーシアムの海外展開活動の促進に寄与いただくとともに、フェロー自身の今後のネットワーク形成及びキャリアパス構築に活用いただきたい。

■シンポジウム・ワークショップ等の企画・運営補助

「国際日本研究」コンソーシアムの事業を担う中核的な組織として、国際研究推進部長のもと「国際研究推進部」を設置した。その管轄下には1)「国際交流部会」2)「研究推進部会」3)「人文知と情報知の融合」部会の3つの部会を置き「国際日本研究」コンソーシアムの海外展開と発展を目指している。この3部会では、年間をとおして、多数のシンポジウム・ワークショップ等を「国際日本研究」コンソーシアムの海外展開と発展に寄与することを目指し開催している。

JF フェローには専門知識や語学力を活かし、シンポジウムやワークショップの企画・運営補助に従事いただき、業務運営の協働をとおして、今後の自身のキャリア形成において重要となる経験を積んでいただきたい。

■共同研究会への参加と運営補助

日文研の中核となる事業として共同研究を実施している。共同研究では、専門や国・地域を異にする研究者が集い、日本の社会および文化をめぐって学際的・国際的な総合研究を重ねてきた。日本研究を一国主義的な枠組みから解き放ち、その多文化性・多元性をも見すえて、日本の歴史・社会・文化をとらえなおす「国際日本研究」を追究している。

更に、第4期開始にあたって設定した課題である「接合域と多面性の討究プロジェクト」を実施するため、約15の共同研究会を3つの研究ユニット「自然観と人間観」「文化と権力」「大衆文化研究の展開」に分け、ユニット間の横断的な連携を図っている。

JF フェローにはカウンターパートが代表を務める共同研究会及び様々な共同研究会への参加と運営補助に従事いただくとともに、若手研究者として情報を発信いただき、自身の専門分野を越えた知識を修得し、今後の研究展開に活用いただきたい。